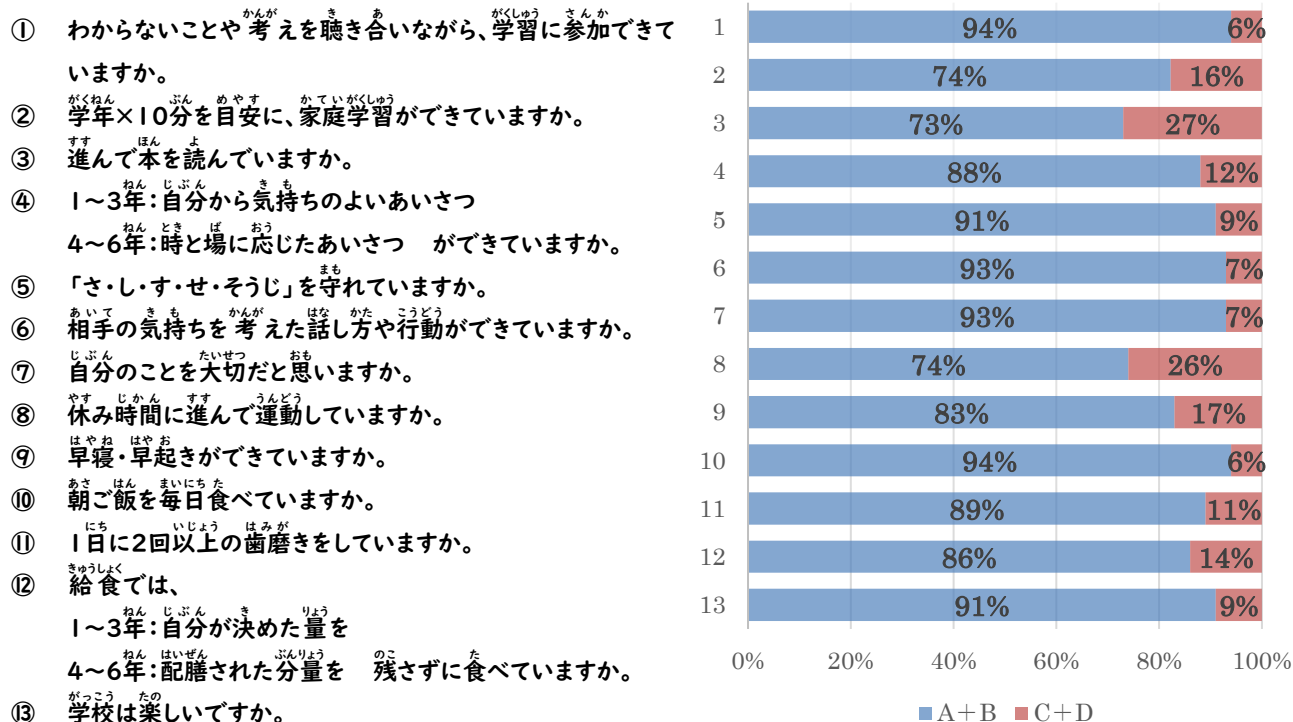




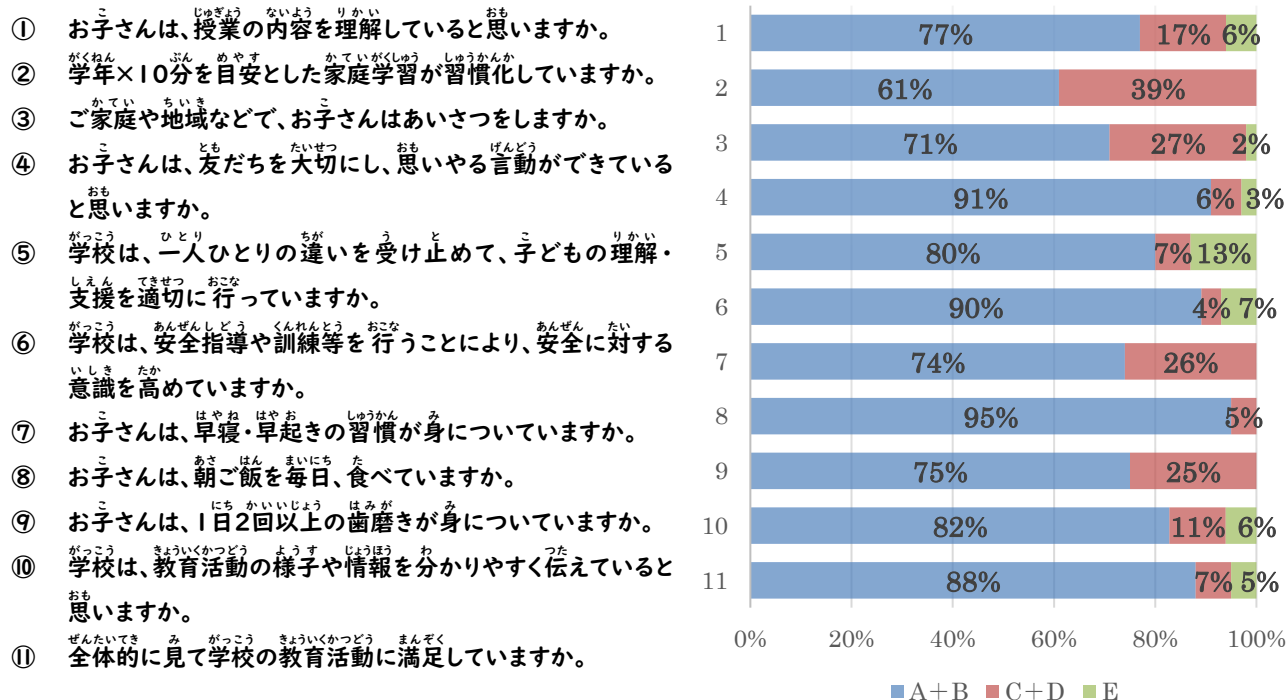
## ◇学校アンケート(児童・保護者)の結果から

2学期に実施しました「保護者アンケート」にご協力いただきありがとうございました。  
「児童アンケート」とともに結果を報告させていただきます。

《児童アンケート》 A:そのとおり B:だいたいそう C:ほとんどそうではない D:そうではない



《保護者アンケート》 A:そのとおり B:だいたいそう C:ほとんどそうではない D:そうではない E:わからない



## 【学習・授業内容理解】児童①

授業では、子どもたちが他者の考えを聴き合うことを大切にしてきました。児童①では、どの学年も肯定的回答が多いことから、今後も「考えること」「聴き合うこと」を重視する学習課題や学習過程を工夫していきます。



## 【学習習慣】児童②、保護者①・②

児童も保護者も家庭学習の時間が十分に確保できていないと回答しています。

また、5年生で実施した新体力テストでの児童質問では、県や全国と比べて、長時間スマホやゲームに時間を費やしていることがわかります。これらのことは、学力調査の結果が全国平均を下回る結果となったことと関連していると考えます。

「学びに向かう力」は、将来を担う子どもたちにぜひ身に付けてほしい資質です。学校では宿題の量や質の見直しや家庭学習の内容や取組方法について、今後も検討していきます。ご家庭でも、スマホやゲームの使い方・マナー等について話し合っていただけると幸いです。

## 【読書活動】児童③

本年度も各種調査において「読書好き」「1日の読書時間」に肯定的回答をしている児童の割合が高いという結果となりました。今後も、PTA図書ボランティアさんやコミュニティスクール（CS）との連携を継続し、発達段階に応じた読書習慣を身につけることを目指します。

## 【あいさつ・清掃活動】児童④⑤、保護者③

「あいさつ」については、児童の認識と保護者・地域・学校の認識にズレが見られるように思います。学校内だけでなく場に合ったあいさつができるようになることを目指し、取組を進めます。一方「さしすせそうじ」の取組は、全校一致してがんばれていることで肯定的評価に繋がっていると考え、今後も継続していきます。

## 【自己肯定感・人権教育】児童⑥⑦、保護者④⑤

児童⑥⑦の質問で、CD回答をしている児童の割合は減りましたが、0%でないことを重く受け止め、日常の教育活動や特別活動、学校行事等の様々な場で認め合う活動を取り入れ、自己肯定感を高め、互いに尊重し合う関係性の構築に向けて研鑽を重ねます。

## 【健康・安全】児童⑧⑨⑩⑪、保護者⑥⑦⑧⑨

2学期に実施した「給食後の歯磨き」へのご協力ありがとうございました。児童⑪と保護者⑨において認識の違いはありますが、健康で安全な生活習慣の獲得に向けて、今後も、養護教諭・栄養教諭と担任との連携を深め、実践を重ねます。

## 【学校生活全般】児童⑫、保護者⑧⑨

「学校は楽しいですか」の問いかけにCD回答の子どもが9%もいることに真摯に向き合い「安心・安全な学級・学校づくり」「楽しい授業づくり」について教職員研修に努め、日々の改善活動に取り組めます。

平日（月～金曜日）学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ているか。

■ 5時間以上  
■ 4時間以上5時間未満  
■ 3時間以上4時間未満  
■ 2時間以上3時間未満  
■ 1時間以上2時間未満  
■ 1時間未満  
■ 全く見ない

